

上北教育事務所だより

令和6年度上半期実施研修報告

充実した研修→こどものウェルビーイング→地域社会が元気に！

社 = 社会教育 学 = 学校教育

冬季学校体育実技講習会

Vol.50

令和6年10月16日

スケート講習会
12/26(木) YSアリーナハロ
※期日と場所が変更になりました。

スキー講習会
1/7(火) 七戸町営スキー場

詳しくは、
案内文書で！

ペーパーティーチャー研修会

第3回は
11/9(土)
七戸町総合アリーナ
にて開催！
詳細・申込みは→



複式学級担任者研修 (6/18 沢田小)

総勢36名の参加者で、久保田真一先生による3・4学年の複式算数授業、泉ゆかり先生による5・6学年の複式国語授業を参観し、協議を行いました。協議会では「非常勤講師を有効に活用するには」「子どもの実態に合わせた教材・教具の工夫について」「日課表の工夫について」など、学校規模に違いはあっても沢田小学校の取組を積極的に活用しようと白熱した協議が行われました。



学

特別支援教育新担当教員実地研修会 (6/25・27 七戸養護学校)

小・中学校合わせて26名の参加がありました。今年度はT2となって各授業に参加し、七戸養護学校の児童生徒たちと一緒に授業に参加する「実習を伴った授業参観」を行いました。講義は、小・中・高等部の様子に加え、受検の留意事項、高等部卒業後の就労等に関する情報など貴重な話を聞くことができました。参加者からは、「支援学校における工夫や配慮を間近で学ぶことができた」、「進路指導の話が参考になった」、「悩みを共有しながら協議できた」などの感想がありました。今後も多くの先生方に参加してほしい研修の1つであると感じました。



学

ペーパーティーチャー研修会 (6/8+和田・8/3三沢)

教員免許状を有しているが現在教職に就いていない方やこれから取得しようとしている方を対象にした研修会を開催しました。第1回は16名、第2回は8名の参加があり、うち5名は連続しての参加でした。当事務所の総務課から「教員免許制度、採用までの手続き、待遇等についての説明」、教育課から「令和の学校現場、教員の魅力等についての説明」を行い、その後の個別相談では個々のケースに応じて具体的にお答えし、参加者からは「充実した時間になった」「不安はあるが前向きに検討したい」などの感想をいただきました。第3回は11/9(土)七戸町総合アリーナで開催します。

学

小・中学校道徳教育研究協議会 (9/20 七戸小)

午前には県総合学校教育センター指導主事松尾和明氏による道徳教育のための校内指導体制と道徳科の授業づくりについて講義・演習をしていただき、午後は会場校の花松龍平先生と島田志保子先生による道徳科の授業を参観し、研究協議を行いました。参加者からは「道徳教育推進教師の役割と取組を理解できた」「授業において、児童の本音を引き出すための工夫や効果的な問い返しを参観することができた」といった感想が寄せられ、知見を深め、実践的指導力の向上につながる機会となりました。



学

学校と地域のネットワークづくり (9/27 和田東コミセン)

県の重点事業である「地域と学校とのパートナーシップ強化事業」として、NPO法人まなびのたねネットワーク代表理事の伊勢みゆき氏を講師として招き、「みんなで育む地域のこどもたち」をテーマに講義や情報交換を行いました。今回は地域活動者や企業、学校関係者など各方面で活躍されている方々が参加し、「こどもをまん中」にして、「大人が地域でつながる」にはどうすればいいか、それぞれの立場から意見を出し合い、有意義な時間を過ごしました。



社

スポーツ推進委員等上北地区研修会 (6/22 東北町トレセン)

東北町スポーツ推進委員協議会委員長 佐々木宏氏を講師に迎え、「地域のみんで楽しむ！基礎から学ぶソフトバレーボール」と題して、研修会を実施しました。講義では、ソフトバレーボールの歴史から、当町の取組などについて御紹介いただき、実技研修では、基本動作を練習した後、市町村毎にチームを組んで、実践形式のゲームを実施しました。参加者は、声を掛け合いながら、笑顔で楽しそうに取り組んでいました。



社

Jr. キャリサポ (9/11 天間林中)

県社会教育センターで専門的な研修を受講した大学生が天間林中3年生のために企画したワークショップ「ほのかプロジェクト」のテーマは『理想の自分』。中学生が、少し年上の大学生と将来について「カタル」ことで、「中学卒業後の自分の姿をイメージし、夢や目標に向かって主体的に取り組んでほしい」という思いが込められています。「がんばった分だけ自分を好きになれるようになりたい！」という感想を話す中学生の眼差しには、力強さも感じられました。



社

放課後児童対策に係る支援員等研修会 (6/5 東北町未来館)

日本赤十字社青森県支部の山野内博見氏を講師に招き、108名の参加者が胸骨圧迫やAEDの使い方について演習を行い、こどもに起きやすいけがや事故の予防、止血にはティッシュはNGなど手当ての方法を学びました。参加者からは、「正しい知識やスキルを更新できてよかった」「毎年実施してほしい」などの感想が寄せられ、ニーズの高さを感じました。「備えあれば憂いなし」万が一に備えておきましょう！



社

安心できる学校づくり研修会 (7/2 東北町未来館)

秋田公立美術大学教授野々口浩幸氏を講師に迎え、「子どもが安心できる居場所としての学校」と題して、研修会を実施しました。「ウェルビーイングの理解」「心理的安全性」「認知バイアス」等々、現場の先生方にとって日々の実践に役立つ内容でした。受講された先生方の感想では「勇気づけ」に関するもの、教師が安全基地となる(心理的安全性)ことに触れているものが多くありました。こどもたちが安心して学校生活をおくり、さまざまな困難を乗り越えられるように支えていきたいという気持ちを先生方が強くもった研修会となりました。



学